

体育

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	スポーツVI	2	2年次・D2	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
現代高等保健体育 （大修館）		ACTIVE SPORTS		2年次選択科目

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活に応じて継続的な運動の計画を立て、自らの実践を深めたり、他者と実践したりすることができるようになる。また、異なるライフステージやライフスタイルに応じた体操や運動の計画を立てることができるようになる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするともに、健康・安全を確保する態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1 体づくり運動 ・縄跳び、ダブルダッチ運動 ・体育祭作品作り	4	・自分や仲間の体や心の状態に気付く。 ・体の調子を整え、仲間との交流を豊かにする。
5				・自己の体力と運動能力を知り、体力を高めていく工夫ができるようにする。 ・新たに学習する基本的、応用的な技を連続の動きで滑らかに安定させて跳ぶことができる。	
6				・学習した難度の高い技を発展させて、一連の動きで跳ぶことができる。	
7				・ダンスの多様な楽しさや喜びを深く味わうとともに、多様な志向及び体力や技能等の違いの中でダンスを継続的に楽しむことができる。	
	2 学 期	・体育祭作品作り ・ラジオ体操第2、3	9	・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに作品を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。	1 3 2 3
			10	・仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけ、仲間に伝えることができる。	

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期		・アルティメット	12 1 2 3	・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマネーや行為について提案することができる。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案することができる。	1 2 3
		観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学 習 評 価	規 準	○体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活に応じて継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることを言ったり書き出したりしている。 ○体ほぐしの運動の学習から、自らの実践を深めたり、他者と実践したりすることを言ったり書き出したりしている。	○発見した動きの改善や効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ○映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを伝えている。	○生涯にわたってスポーツを実践していく際の協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高めようとしている。 ○スポーツの推進及び発展に寄与する自己の姿勢や他者、地域社会との関わり方などのスポーツの価値を高めることに主体的に取り組もうとしている。	
		手段	・実技テスト ・個人記録	・練習や試合中の行動の観察	・授業中の態度の観察 ・出席状況
		単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	・実技種目ごとに実技テストを実施する。出席・態度・意欲を平常点とする。		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。また、自分やグループでの課題に挑戦しよう。 ・自分の体力などから適切なトレーニング計画が立てられるように説明などをよく聞くようにしよう。 				